

訂正箇所		誤	正	備考	摘要
ページ	行など				
8	5	掘削 <u>ビット</u>	掘削 <u>ヘッド</u>	掘削ビット →掘削ヘッド	第2刷で修正
52	3	掘削 <u>ビット</u>	掘削 <u>ヘッド</u>	掘削ビット →掘削ヘッド	第2刷で修正
122	式 (Ⅱ.1.4)	$AE = \frac{l_0 \cdot A_0 E_0}{l_0} + \frac{1}{(1 + \beta_1 + \beta_2 + \dots + \beta_1 + \dots)}$	$AE = \frac{l \cdot A_0 \cdot E_0}{l_0} \cdot \frac{1}{(1 + \beta_1 + \beta_2 + \dots + \beta_i + \dots)}$	$l_0 \rightarrow l$ + → $\beta_1 \rightarrow \beta_i$	第2刷で修正
122	式 (Ⅱ.1.5)	$\beta_1 = \frac{l_i}{A_i E_i} / \frac{l_0}{A_0 E_0}$	$\beta_i = \frac{l_i}{A_i E_i} / \frac{l_0}{A_0 E_0}$	$\beta_1 \rightarrow \beta_i$	第2刷で修正
150	図-Ⅱ 1.48(a)	(a)セメントミルク噴出攪拌	(a)セメントミルク噴出攪拌 <u>方式</u>	「方式」を追加	第2刷で修正
172	19	風化軟岩及び堆積軟岩 <u>を</u> 適用範囲の目安となる。	風化軟岩及び堆積軟岩 <u>が</u> 適用範囲の目安となる。	を→が	第2刷で修正
189	1	1.4.4 施工上の問題点と対策 施工上の問題点と対策例を以下に示す。		削除	第2刷で修正
191	1		1.4.4 施工上の問題点と対策 施工上の問題点と対策例を以下に示す。	追加	第2刷で修正

訂正箇所		誤	正	備考	摘要																																																																													
ページ	行など																																																																																	
211	38	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現象</th> <th>原因</th> <th>対策例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 杭打ち機の転倒</td> <td>1.2.4 (1) を参照</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. クレーンの転倒</td> <td>同上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. ロッドの転倒</td> <td>1.4.4 を参照</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 周辺環境への影響 (騒音・振動)</td> <td>1.2.4 (1) を参照</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 掘削孔の曲がり、掘削が困難</td> <td>同上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 杭接合作業時の下杭の沈降</td> <td>同上</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">7. 杭の沈設が困難・高止り</td> <td>・掘削機棒ロッドにれき等の かみ込み</td> <td>・掘削機棒ヘッドの変更。 ・プレボーリングによるれきの事前除去。(浅い位置にれきが介在している場合) ・杭径の拡大。</td> </tr> <tr> <td>・掘削抵抗の大きな硬質中間層への掘削が困難</td> <td>・容量の大きな駆動装置への変更。 ・掘削機棒ヘッドの変更。 ・沈設速度の抑制。 ・セメントミルク配合の変更。 ・プレボーリングによるれきの事前除去。(浅い位置にれきが介在している場合)</td> </tr> <tr> <td>・地中障害物の存在 ・砂質地盤やシラス地盤での 逸水</td> <td>・地中障害物の撤去。 ・増粘剤や逸液防止剤の添加。</td> </tr> <tr> <td>8. セメントミルク注入時の圧力の異常</td> <td>1.4.4 を参照</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 杭の傾斜、杭心ずれ</td> <td>1.3.4 を参照</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10. 設置完了後の杭の沈下</td> <td>1.4.4 を参照</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現象	原因	対策例	1. 杭打ち機の転倒	1.2.4 (1) を参照		2. クレーンの転倒	同上		3. ロッドの転倒	1.4.4 を参照		4. 周辺環境への影響 (騒音・振動)	1.2.4 (1) を参照		5. 掘削孔の曲がり、掘削が困難	同上		6. 杭接合作業時の下杭の沈降	同上		7. 杭の沈設が困難・高止り	・掘削機棒ロッドにれき等の かみ込み	・掘削機棒ヘッドの変更。 ・プレボーリングによるれきの事前除去。(浅い位置にれきが介在している場合) ・杭径の拡大。	・掘削抵抗の大きな硬質中間層への掘削が困難	・容量の大きな駆動装置への変更。 ・掘削機棒ヘッドの変更。 ・沈設速度の抑制。 ・セメントミルク配合の変更。 ・プレボーリングによるれきの事前除去。(浅い位置にれきが介在している場合)	・地中障害物の存在 ・砂質地盤やシラス地盤での 逸水	・地中障害物の撤去。 ・増粘剤や逸液防止剤の添加。	8. セメントミルク注入時の圧力の異常	1.4.4 を参照		9. 杭の傾斜、杭心ずれ	1.3.4 を参照		10. 設置完了後の杭の沈下	1.4.4 を参照		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現象</th> <th>原因</th> <th>対策例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 杭打ち機の転倒</td> <td>1.2.4 (1) を参照</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. クレーンの転倒</td> <td>同上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. ロッドの転倒</td> <td>1.4.4 を参照</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 周辺環境への影響 (騒音・振動)</td> <td>1.2.4 (1) を参照</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 掘削孔の曲がり、掘削が困難</td> <td>同上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 杭接合作業時の下杭の沈降</td> <td>同上</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">7. 杭の沈設が困難・高止り</td> <td>・掘削機棒ロッドにれき等の かみ込み</td> <td>・掘削機棒ヘッドの変更。 ・プレボーリングによるれきの事前除去。(浅い位置にれきが介在している場合) ・杭径の拡大。</td> </tr> <tr> <td>・掘削抵抗の大きな硬質中間層への掘削が困難</td> <td>・容量の大きな駆動装置への変更。 ・掘削機棒ヘッドの変更。 ・沈設速度の抑制。 ・セメントミルク配合の変更。 ・プレボーリングによるれきの事前除去。(浅い位置にれきが介在している場合)</td> </tr> <tr> <td>・地中障害物の存在 ・砂質地盤やシラス地盤での 逸水</td> <td>・地中障害物の撤去。 ・増粘剤や逸液防止剤の添加。</td> </tr> <tr> <td>8. セメントミルク注入時の圧力の異常</td> <td>1.4.4 を参照</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9. 杭の傾斜、杭心ずれ</td> <td>1.3.4 を参照</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10. 設置完了後の杭の沈下</td> <td>1.4.4 を参照</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11. 記録データの破損・紛失</td> <td>1.3.4 を参照</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現象	原因	対策例	1. 杭打ち機の転倒	1.2.4 (1) を参照		2. クレーンの転倒	同上		3. ロッドの転倒	1.4.4 を参照		4. 周辺環境への影響 (騒音・振動)	1.2.4 (1) を参照		5. 掘削孔の曲がり、掘削が困難	同上		6. 杭接合作業時の下杭の沈降	同上		7. 杭の沈設が困難・高止り	・掘削機棒ロッドにれき等の かみ込み	・掘削機棒ヘッドの変更。 ・プレボーリングによるれきの事前除去。(浅い位置にれきが介在している場合) ・杭径の拡大。	・掘削抵抗の大きな硬質中間層への掘削が困難	・容量の大きな駆動装置への変更。 ・掘削機棒ヘッドの変更。 ・沈設速度の抑制。 ・セメントミルク配合の変更。 ・プレボーリングによるれきの事前除去。(浅い位置にれきが介在している場合)	・地中障害物の存在 ・砂質地盤やシラス地盤での 逸水	・地中障害物の撤去。 ・増粘剤や逸液防止剤の添加。	8. セメントミルク注入時の圧力の異常	1.4.4 を参照		9. 杭の傾斜、杭心ずれ	1.3.4 を参照		10. 設置完了後の杭の沈下	1.4.4 を参照		11. 記録データの破損・紛失	1.3.4 を参照		<p>「11. 記録データの破損・損失」の項目を追加</p> <p>※クリックすると拡大します</p>	第2刷で修正
現象	原因	対策例																																																																																
1. 杭打ち機の転倒	1.2.4 (1) を参照																																																																																	
2. クレーンの転倒	同上																																																																																	
3. ロッドの転倒	1.4.4 を参照																																																																																	
4. 周辺環境への影響 (騒音・振動)	1.2.4 (1) を参照																																																																																	
5. 掘削孔の曲がり、掘削が困難	同上																																																																																	
6. 杭接合作業時の下杭の沈降	同上																																																																																	
7. 杭の沈設が困難・高止り	・掘削機棒ロッドにれき等の かみ込み	・掘削機棒ヘッドの変更。 ・プレボーリングによるれきの事前除去。(浅い位置にれきが介在している場合) ・杭径の拡大。																																																																																
	・掘削抵抗の大きな硬質中間層への掘削が困難	・容量の大きな駆動装置への変更。 ・掘削機棒ヘッドの変更。 ・沈設速度の抑制。 ・セメントミルク配合の変更。 ・プレボーリングによるれきの事前除去。(浅い位置にれきが介在している場合)																																																																																
	・地中障害物の存在 ・砂質地盤やシラス地盤での 逸水	・地中障害物の撤去。 ・増粘剤や逸液防止剤の添加。																																																																																
8. セメントミルク注入時の圧力の異常	1.4.4 を参照																																																																																	
9. 杭の傾斜、杭心ずれ	1.3.4 を参照																																																																																	
10. 設置完了後の杭の沈下	1.4.4 を参照																																																																																	
現象	原因	対策例																																																																																
1. 杭打ち機の転倒	1.2.4 (1) を参照																																																																																	
2. クレーンの転倒	同上																																																																																	
3. ロッドの転倒	1.4.4 を参照																																																																																	
4. 周辺環境への影響 (騒音・振動)	1.2.4 (1) を参照																																																																																	
5. 掘削孔の曲がり、掘削が困難	同上																																																																																	
6. 杭接合作業時の下杭の沈降	同上																																																																																	
7. 杭の沈設が困難・高止り	・掘削機棒ロッドにれき等の かみ込み	・掘削機棒ヘッドの変更。 ・プレボーリングによるれきの事前除去。(浅い位置にれきが介在している場合) ・杭径の拡大。																																																																																
	・掘削抵抗の大きな硬質中間層への掘削が困難	・容量の大きな駆動装置への変更。 ・掘削機棒ヘッドの変更。 ・沈設速度の抑制。 ・セメントミルク配合の変更。 ・プレボーリングによるれきの事前除去。(浅い位置にれきが介在している場合)																																																																																
	・地中障害物の存在 ・砂質地盤やシラス地盤での 逸水	・地中障害物の撤去。 ・増粘剤や逸液防止剤の添加。																																																																																
8. セメントミルク注入時の圧力の異常	1.4.4 を参照																																																																																	
9. 杭の傾斜、杭心ずれ	1.3.4 を参照																																																																																	
10. 設置完了後の杭の沈下	1.4.4 を参照																																																																																	
11. 記録データの破損・紛失	1.3.4 を参照																																																																																	

訂正箇所		誤	正	備考	摘要																																																									
ページ	行など																																																													
230	19	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現象</th> <th>原因</th> <th>対策例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 杭打ち機の回転</td> <td>・回転反力不足</td> <td>・所定トルクに合った適切な回転反力装置の設置。</td> </tr> <tr> <td>2. クレーンの転倒</td> <td>1.2.4 (1) を参照</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 周辺環境への影響 (騒音・振動)</td> <td>1.2.4 (1) を参照</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4. 杭体の破損</td> <td>・過大なトルクでの施工</td> <td>・施工時におけるトルク値の管理。</td> </tr> <tr> <td>・地中障害物の存在</td> <td>・地中障害物の撤去。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">5. 貫入不能、高止り</td> <td>・トルク不足、推進力不足</td> <td>・貫入抑制、逆回転などの施工操作で対応。</td> </tr> <tr> <td>・地中障害物の存在</td> <td>・地中障害物の撤去。</td> </tr> <tr> <td>・杭打設による地盤の締固め</td> <td>・打込み順序を検討。</td> </tr> <tr> <td>6. 杭心ずれ、杭の傾斜</td> <td>1.3.4 を参照</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現象	原因	対策例	1. 杭打ち機の回転	・回転反力不足	・所定トルクに合った適切な回転反力装置の設置。	2. クレーンの転倒	1.2.4 (1) を参照		3. 周辺環境への影響 (騒音・振動)	1.2.4 (1) を参照		4. 杭体の破損	・過大なトルクでの施工	・施工時におけるトルク値の管理。	・地中障害物の存在	・地中障害物の撤去。	5. 貫入不能、高止り	・トルク不足、推進力不足	・貫入抑制、逆回転などの施工操作で対応。	・地中障害物の存在	・地中障害物の撤去。	・杭打設による地盤の締固め	・打込み順序を検討。	6. 杭心ずれ、杭の傾斜	1.3.4 を参照		<table border="1"> <thead> <tr> <th>現象</th> <th>原因</th> <th>対策例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 杭打ち機の回転</td> <td>・回転反力不足</td> <td>・所定トルクに合った適切な回転反力装置の設置。</td> </tr> <tr> <td>2. クレーンの転倒</td> <td>1.2.4 (1) を参照</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 周辺環境への影響 (騒音・振動)</td> <td>1.2.4 (1) を参照</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4. 杭体の破損</td> <td>・過大なトルクでの施工</td> <td>・施工時におけるトルク値の管理。</td> </tr> <tr> <td>・地中障害物の存在</td> <td>・地中障害物の撤去。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">5. 貫入不能、高止り</td> <td>・トルク不足、推進力不足</td> <td>・貫入抑制、逆回転などの施工操作で対応。</td> </tr> <tr> <td>・地中障害物の存在</td> <td>・地中障害物の撤去。</td> </tr> <tr> <td>・杭打設による地盤の締固め</td> <td>・打込み順序を検討。</td> </tr> <tr> <td>6. 杭心ずれ、杭の傾斜</td> <td>1.3.4 を参照</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7. 記録データの破損・紛失</td> <td>1.3.4 を参照</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	現象	原因	対策例	1. 杭打ち機の回転	・回転反力不足	・所定トルクに合った適切な回転反力装置の設置。	2. クレーンの転倒	1.2.4 (1) を参照		3. 周辺環境への影響 (騒音・振動)	1.2.4 (1) を参照		4. 杭体の破損	・過大なトルクでの施工	・施工時におけるトルク値の管理。	・地中障害物の存在	・地中障害物の撤去。	5. 貫入不能、高止り	・トルク不足、推進力不足	・貫入抑制、逆回転などの施工操作で対応。	・地中障害物の存在	・地中障害物の撤去。	・杭打設による地盤の締固め	・打込み順序を検討。	6. 杭心ずれ、杭の傾斜	1.3.4 を参照		7. 記録データの破損・紛失	1.3.4 を参照		<p>「7. 記録データの破損・損失」の項目を追加</p> <p>※クリックすると拡大します</p>	第2刷で修正
現象	原因	対策例																																																												
1. 杭打ち機の回転	・回転反力不足	・所定トルクに合った適切な回転反力装置の設置。																																																												
2. クレーンの転倒	1.2.4 (1) を参照																																																													
3. 周辺環境への影響 (騒音・振動)	1.2.4 (1) を参照																																																													
4. 杭体の破損	・過大なトルクでの施工	・施工時におけるトルク値の管理。																																																												
	・地中障害物の存在	・地中障害物の撤去。																																																												
5. 貫入不能、高止り	・トルク不足、推進力不足	・貫入抑制、逆回転などの施工操作で対応。																																																												
	・地中障害物の存在	・地中障害物の撤去。																																																												
	・杭打設による地盤の締固め	・打込み順序を検討。																																																												
6. 杭心ずれ、杭の傾斜	1.3.4 を参照																																																													
現象	原因	対策例																																																												
1. 杭打ち機の回転	・回転反力不足	・所定トルクに合った適切な回転反力装置の設置。																																																												
2. クレーンの転倒	1.2.4 (1) を参照																																																													
3. 周辺環境への影響 (騒音・振動)	1.2.4 (1) を参照																																																													
4. 杭体の破損	・過大なトルクでの施工	・施工時におけるトルク値の管理。																																																												
	・地中障害物の存在	・地中障害物の撤去。																																																												
5. 貫入不能、高止り	・トルク不足、推進力不足	・貫入抑制、逆回転などの施工操作で対応。																																																												
	・地中障害物の存在	・地中障害物の撤去。																																																												
	・杭打設による地盤の締固め	・打込み順序を検討。																																																												
6. 杭心ずれ、杭の傾斜	1.3.4 を参照																																																													
7. 記録データの破損・紛失	1.3.4 を参照																																																													
235	表- II .2.1	3.鉄筋建込、コンリート打ち込み	表- II .2.1 3.鉄筋建込、コンクリート打ち込み	コンリート →コンクリート	第2刷で修正																																																									
236	23	有機シルト	有機質シルト	有機シルト →有機質シルト	第2刷で修正																																																									
240	図- II .2.2	<p>図 - II .2.2 回転式掘削機の一般的な杭径と杭長の関係</p>	<p>図 - II .2.2 回転式掘削機の一般的な杭径と掘削長の関係</p>	mm→m 軸の単位「m」削除 杭長→掘削長	第2刷で修正																																																									

訂正箇所		誤	正	備考	摘要
ページ	行など				
245	図- II .2.5	<p>杭長 (mm)</p> <p>杭径 (mm)</p> <p>※ () 内の数値は締付け用副バンド装置を使用しない場合の数値 図 - II . 2. 5 クローラクレーンの一般的な杭径と杭長の関係</p>	<p>掘削長 (m)</p> <p>杭径 (mm)</p> <p>※ () 内の数値は締付け用副バンド装置を使用しない場合の数値 図 - II . 2. 5 クローラクレーンの一般的な杭径と掘削長の関係</p>	mm→m 杭長→掘削長	第2刷で修正
298	図- II .2.26	<p>図 - II . 2. 26 先端かぶり確保の例</p>	<p>図 - II . 2. 26 先端かぶり確保の例</p>	井桁鉄 →井桁鉄筋	第2刷で修正
306	図- II .2.32	$l = \frac{(D^2 - d^2)(\pi/4)}{d^2 \times \pi/4}$	$l = \frac{\{(D/2)^2 \pi - (d/2)^2 \pi\} \times L}{(d/2)^2 \pi}$	「L」追加	第2刷で修正
339	2	(社) 日本基礎建設協会: 場所打ちコンクリート杭の施工と管理, 2003.	(一社) 日本基礎建設協会: 場所打ちコンクリート杭の施工, 2019.	社→一社 「と管理」削除 2003→2019	第2刷で修正
339	4	(一社) 日本基礎建設協会: 場所打ちコンクリート杭施工指針・同解説 オールケーシング工法, 2020.	(一社) 日本基礎建設協会: 場所打ちコンクリート杭施工指針・同解説 オールケーシング工法 (土木), 2020.	「(土木)」追加	第2刷で修正

訂正箇所		誤	正	備考	摘要
ページ	行など				
346	表- 参.5.1	掘削ビット	掘削ヘッド	掘削ビット →掘削ヘッド	第2刷で修正